

五十三次名所図会 四

神奈川  
台の茶屋  
海上見はらし

企画展

# 五十三次名所図会

会期  
令和3年  
(2021)

1.21(木) - 2.23(火・祝)

Exhibition

Famous Sights of the Fifty-three Stations

Exhibition dates: January 21st(Thu) - February 23rd(Tue)



徳  
重  
亭



中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena



毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー  
(スポンサー)  
(株) 銀の森コーポレーション、  
木曾路物産(株)、(株) サラダコスモ



令和3年(2021)

会期 **1.21(木) - 2.23(火・祝)**

企画展

# 五十三次名所図会

観覧料 大人/520円(420円)  
 ( )内は20名以上の団体料金  
 ※18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。  
 開館時間 午前9時30分～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)  
 休館日 月曜日、2.12(金)は祝翌日のため休館。●2.11(木・祝)は開館。  
 主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

## 関連イベント

- ※無料(ただし、観覧料が必要です)
- 学芸員による作品ガイド  
日時: 2.7(日) 午前10時30分～(30分程度)  
場所: 展示室 1(1F)
- 解説ボランティア幽遊会による作品ガイド  
日時: 随時(要事前予約)

天保4年(1833)に刊行された《東海道五拾三次之内》(保永堂版)を皮切りに、広重は東海道をテーマとした揃物を制作し続け、その数は二十数種類にも上ります。広重の名を世に知らしめることとなった保永堂版の成功の裏には、享和2年(1802)から刊行が始まった十返舎一九『東海道中膝栗毛』の爆発的人气による旅行ブームがありました。江戸時代は中世以前に比べ、人や物の移動が比較的容易になった時代でした。とはいえ、当時の人々にとって、旅とはやはり特別なもの。滑稽でお粗末、少々好色な二人組の珍道中は、貴賤貧富を問わず熱狂的に受け入れられます。人々は自らの旅の思い出に彼らを重ね、あるいは弥次喜多の旅したまだ見ぬ憧れの地へ思いを馳せました。広重の街道絵は、時には机上で旅気分を味わうためのガイドブックとして、またある時には旅の思い出に浸るためのアルバムとして、好評を博したのでした。

さて、本展でご覧いただく《五十三次名所図会》は、安政2年(1855)に刊行された通称「縦絵東海道」ともいわれる55枚のシリーズです。広重が手掛けた東海道の揃物の中で唯一画面を縦に使った作品で、俯瞰的な構図を多く用いています。また、故事や伝承なども画題として取り入れ、鑑賞者を飽きさせない工夫も見られます。本揃物は、まさに日本各地の名所旧跡を紹介した「名所図会」を思わせるシリーズです。

広重は晩年、《六十余州名所図会》や《名所江戸百景》など、画面を縦に使った風景画を多く制作しました。一般的に、縦長の画面は風景画には不向きとされています。しかし広重は、縦構図の水平面角の狭さという弱点を、俯瞰構図や近像型構図(手前のモチーフを大きく描き、遠景を見通す構図)を用いて見事にカバーしました。年を重ねてなお新しい表現を模索した、広重晩年の大作をご覧ください。

## 中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1

TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322

<https://hiroshige-ena.jp>

オンラインミュージアムショップはこちら↓

<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>

毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー  
 (スポンサー)  
 (株)銀の森コーポレーション、  
 木曾路物産(株)、(株)サラダコスモ

Exhibition

## Famous Sights of the Fifty-three Stations

Exhibition dates: January 21st(Thu) - February 23rd(Tue)

【図版】

歌川広重《五十三次名所図会》

「十七 由井 薩多嶺親知らず」

安政2年(1855)7月 錦絵大判 当館蔵



左手には急峻な崖、右手には大海が広がり、馬が一騎通るのもやっとという薩埵峠。後ろを顧みる余裕もないほどの緊張を強いられた道のりは、「親知らず子知らず」と呼ばれた難所でした。山肌には陰影が丁寧に施され、木々が細かく描き込まれています。黄でつぶされた空にうっすらと引かれた朱のぼかしが、彫師、摺師の繊細な手仕事を今に伝えます。

Museum Shop News

まじない絵はいかが？  
 厄を払い、福を招く。

ミュージアムショップでは、昨年好評だった鼠屋ちゅう吉のまじない絵を今年も入荷しました。未曾有の災害や未知の病に見舞われた昨年の厄を払い、福を招き、今年こそ明るい年になるよう願いを込めて飾ってみてはいかがでしょうか。「鬼除け」セットの他にも「鼠除け」「病気除け」もあります。この機会にぜひどうぞ。



上:「鬼除け」セット

下左:「鼠除け」セット

下右:「病気除け」セット

各330円(税込)



オンラインミュージアムショップ 美術館ホームページ